光州女子大学
出欠システム学生案内

目次

電子出欠管理アプリをインストール 01
1-1. Android用アプリのインストール及び設定
1-2. IOS（iPhone）用アプリのインストール及び設定

02 **出席チェックFlow**
2-1. 教授者画面
2-2. 授業中離脱危険度をチェック
2-2. 学生画面
2-3. 認証番号で出席チェック

03 **学生出席チェック**
3-1. Androidで出席チェック
3-2. iOSで出席チェック
3-3. ビーコンで出席チェック 3-
4. 認証番号で出席チェック

04 **出席チェックの進行手順**

05 **欠席状況**

06 QnA

07 **講義評価/能力評価/アンケート調査**
7-1. 講義評価
7-2. 能力評価
7-3. アンケート調査

08 **2次認証**

09 **メッセージボックス**
9-1. 新規メッセージの作成
9-2. 受信メッセージ
9-3. 設定する

10 **モバイル学生証**

01 電子出欠管理アプリをインストール

01 電子出欠管理アプリをインストール

Android

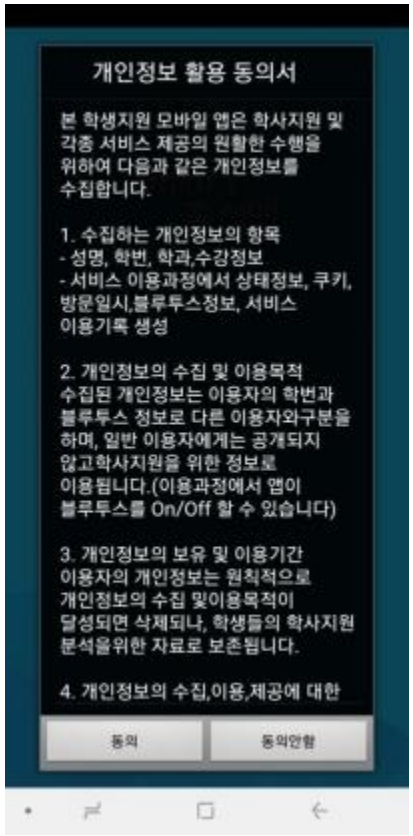
Play ストアで「光州女子大学電子出欠管理」を検索し、インストールしてください。

I Phone

アップストアで「光州女子大学電子出欠管理」を検索し、インストールしてください。

01 電子出欠管理アプリをインストール

Android用インストール及び設定



1) 個人情報の利活用同意– [同意]選択



2) ID : 大学ポータルID
パスワード :
大学ポータルのログインパスワードを入力してログイン





3) 位置情報及び写真、メディア、ファイルへのアクセス権限– [許可]を選択 **位置情報の**使用**権限**を**常に許可**に



4) Bluetoothアクセス権限の要請–[許可]を選択

01 電子出欠管理アプリをインストール

Android用インストール及び設定 – 位置情報の使用権限を許可する

電子出欠管理アプリ – 位置情報 – 常に許可（必須）



設定をクリック



アプリをクリック



電子出欠管理アプリをクリック



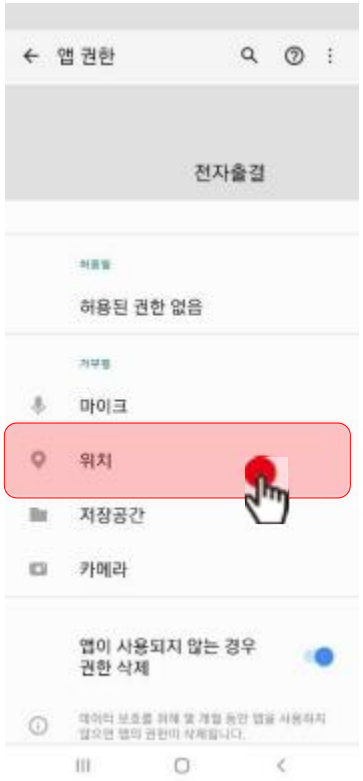
権限をクリック

01 電子出欠管理アプリをインストール

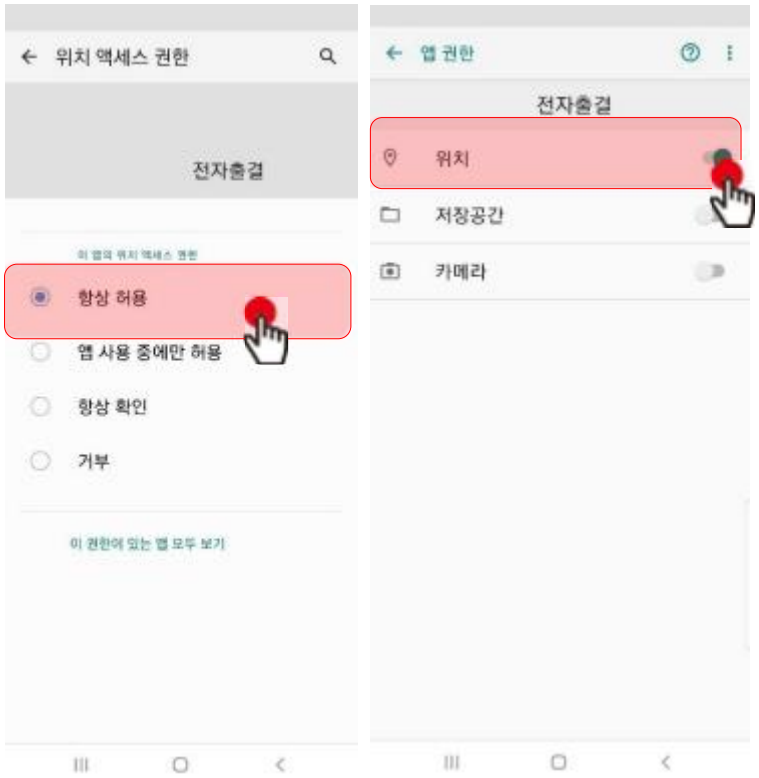
Android用インストール及び設定 – 位置情報の使用権限を許可する

電子出欠管理アプリ – 位置情報 – 常に許可（必須）

※ 共通設定



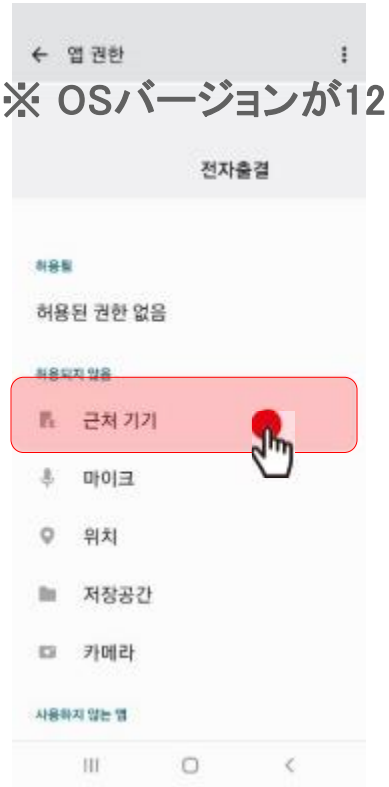
位置をクリック



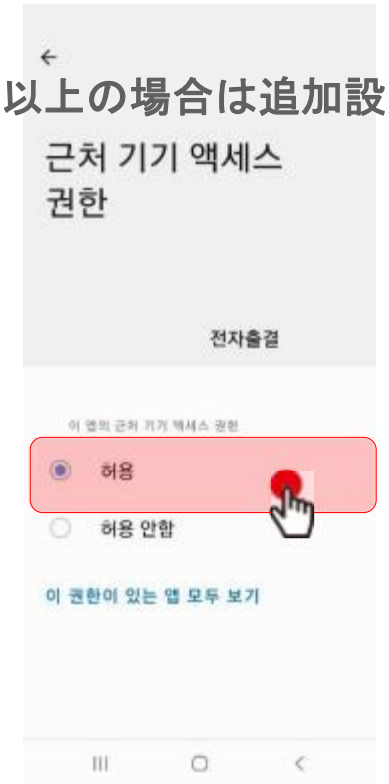
常に許可または位置情報の有効化

※ Androidのバージョンによって画面が異なる場合がある

※ OSバージョンが12以上の場合は追加設定



付近のデバイスをクリック



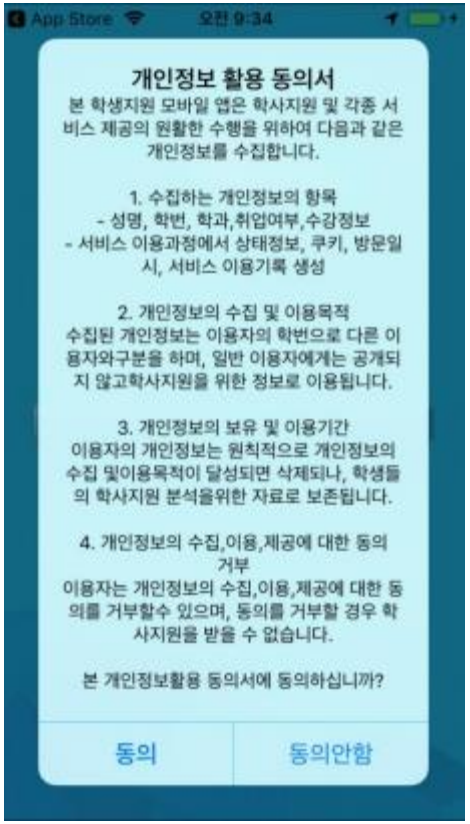
許可を選択

01 電子出欠管理アプリをインストール

IOS（iPhone）用アプリのインストール及び設定



1）通知を送信 – [許可]を選択



2）個人情報の利活用同意– [同意]を選択



3）ID：大学ポータルID
パスワード：
大学ポータルログインパスワードを
入力してログイン

01 電子出欠管理アプリをインストール

IOS（iPhone）用アプリのインストール及び設定



＊位置情報サービスの通知確認
円滑な電子出欠管理アプリ使用のため
位置情報サービス設定- 常にに 設定してください。設定のためには**設定する**を押すと、当該ページに**遷移**します。

＊メイン画面で「設定」ボタンを押すと、同じ画面が表示されます。



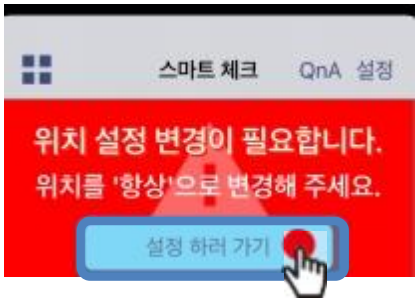
1)位置情報サービスをクリック



2) 常にに設定

01 電子出欠管理アプリをインストール

IOS（iPhone）用アプリのインストール及び設定



位置情報サービスの設定が「常に」に なってないとき、当該画面が表示されます。
‘＊「設定する」ボタンを押して位置情報サービス設定を「常に」に設定してください。



1)位置情報サービスをクリック



2) 常にに設定

02 出席チェックFlow

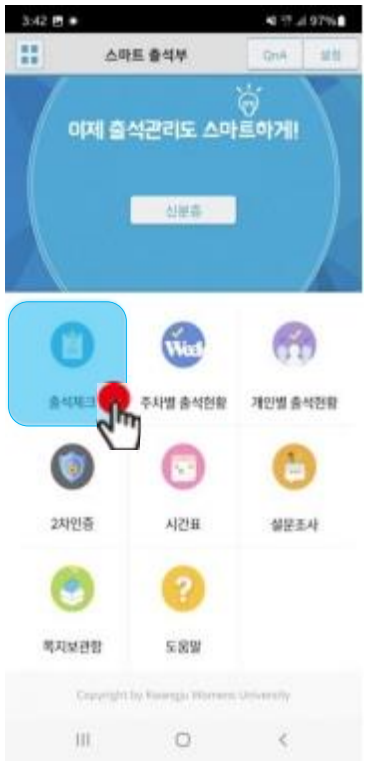
02 出席チェックFlow

教授画面

使い方

＊教授者は出欠情報の精度を上げるためにWi-Fi Off状態を推奨

1) [出席チェック] → 担当[科目名]を選択 → [当該授業が何週目か]を確認した後、[自動出席チェック] → 学生たちに出欠メッセージを送信→ 自動出欠終了
2) スマートフォンがなかったり、欠席と表示された学生は氏名を選択すれば、出席に移動し、出欠チェックを終えた後、[出席チェック終了]をすれば、サーバーに保存される
3) 必要に応じて「自動出席チェック」を押すと、再度電子出欠管理が起動する。ただし、この時は欠席者にのみPUSHメッセージが送信される。



1) 出席チェック



2) 科目選択



3) 自動出席チェック開始



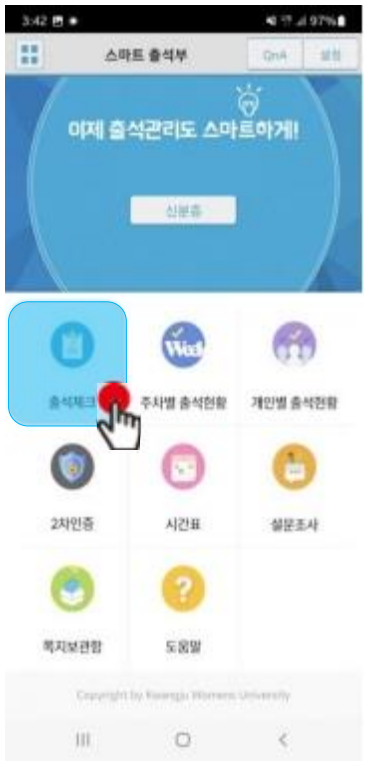
4) 40秒間チェック

02 出席チェックFlow

授業中離脱危険度をチェック

使い方

1) [出席チェック] → 担当[科目名]を選択 → [当該授業が何週目か] を確認した後、[自動出席チェック] → チェック開始 → 授業中離脱危険度を確認した後、[出席チェック終了] をクリック



1) 出席チェック



2) 科目選択



3) 自動出席チェック開始



4) 授業中離脱危険度を確認

02 出席チェックFlow

学生画面

・Android用とiOS用共通
・Android 10は当該ポップアップウィンドウが表示されません。

使い方

1） 教授者が[何週目の授業か]を選択し、[出席チェック開始]ボタンを押すと、学生たちにプッシュ通知が送信される
2) 30秒間教授と学生にスマートフォンアプリ間で自動的に出欠をCHECKする



Android用画面



iOS用画面



＊欠席の理由入力フィールド

遅刻または欠席の事由が発生した場合、事由を入力すると、教授に入力内容がリアルタイムで伝達される。 ただし、出席結果とは関係なく教授者の参考事項である。

02 教授出席チェックFlow

– 認証番号で出席チェック

注意）出席チェック完了ボタンをす押すと学生たちはもう出席チェックができなくなります。



1. 認証番号で出席チェックをクリック



2. 認証番号が表示されると、学生に教えます。



3. 出席チェックを完了したいときは、出席チェック完了ボタンをクリック

03 学生出席チェック

03 学生出欠チェック

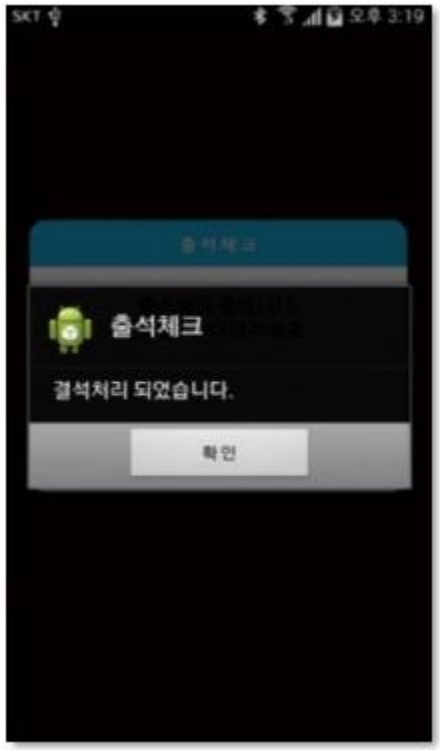
Android用出席チェック

画面 (1)
出席チェックをすると、[画面(1)]が表示され、一定時間が経過した後
「出席確認できました。」 というメッセージが表示され、自動的に閉じる。
画面 (2)
ブルートゥースの接続が遅い場合現れる現象で、[画面(3)]が表示されると、[はい]を遅く押した状態であるため、当該学生は教授に出欠状況を確認し、不利益が発生しないようにしなければならない。

画面 (3)
[メイン画面-設定]で [画面(3)]のようにブルートゥース設定ができる
スマートウォッチなど**ウェアラブルデバイスを使う**場合**常時オンに設定**しなければなりません。



画面 (1)



画面 (2)



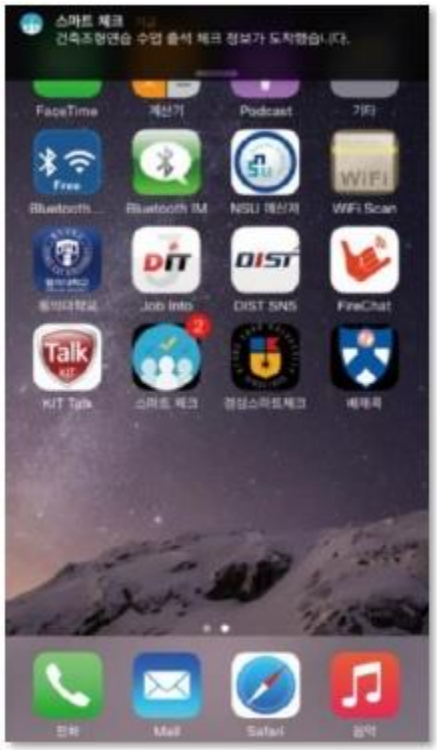
画面 (3)

03 学生の出欠チェック

iOS用出席チェック

画面 (1),(2)
教授が出席チェックを開始すると、[画面(1)]または[画面(2)]の上段に出欠通知メッセージが表示される。このメッセージを押すと、[画面(4)]に遷移し、出席チェックができる。

画面 (3),(4)
[画面(3)]のように電子出欠管理アプリが起動中なら、直ちに[画面(4)]に遷移する
万が一[画面(4)]で画面が止まってしまった学生は教授に出席チェックを求める(エラー)



画面 (1)



画面 (2)



画面 (3)



画面 (4)

03 学生の出欠チェック

学生の出席をチェックする方 : ビーコンで出席チェック

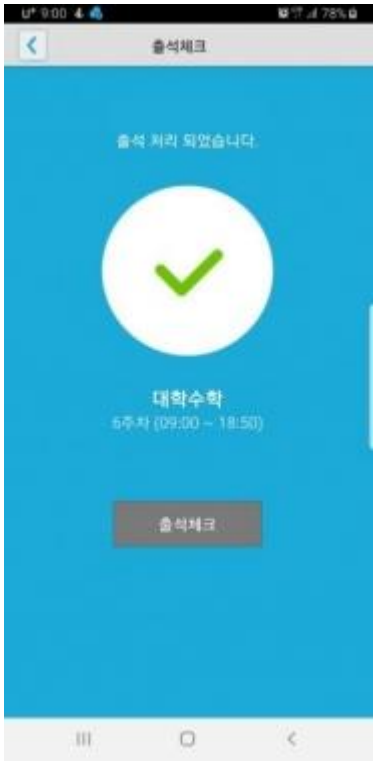
: ビーコンを利用する方法と既存のブルートゥースを利用する方法両方とも使用できる

1.1 必要性 : チャペルアワーなどの500人以上の大規模授業の場合、出席チェックの時間短縮が可能

1.2 出席をチェックする方 : **大規模講義はビーコンを利用する方法を推奨**







学生が出席チェックをトライする

出席チェックをクリック

03 学生の出欠チェック

学生の出席をチェックする方

: 認証番号で出席チェック



1. 出席チェックをクリック



2. 教授が教えた認証番号を入力した後、出席チェックボタンをクリック



3. 同じ番号を入力したら、出席と認める

04 自動出席チェックの進行手順

04 自動出席チェックの進行手順

学生の進行手順

1) 授業に入る前にスマートフォンに電子出欠管理アプリをインストール

2) 電子出欠管理アプリにログインし、教授の電子出欠管理が始まると、自分の自動出席チェックがちゃんとできたかアプリで確認する

3) 出欠を終えた後、もし問題が発生した場合、休み時間に教授に話して直してもらう

学生の推奨事項

ネットワークに接続

Wifiでも可能だが、3GまたはLTE ネットワークに接続することを推奨します。

強制終了の禁止

授業前にアプリを起動させ、ホームボタンを押して起動状態を常に維持してください。

ブルートゥースを常にオン

ブルートゥースが常にオンモードになってない場合、ブルートゥースをオンする過程で時間遅延により出席チェック漏れが発生するときがあります。 常にオンモードを保持し、こういう問題を事前に予防してください。

05 欠席状況

05 欠席状況

使い方

1) ホーム画面の詳細メニューから欠席状況をクリック。
　欠席が1回でもある場合、ポップアップウィンドウが表示される。
2) 科目別に自分の出席、遅刻、欠席などの出欠状況を確認できる。
　欠席回数が多くなると、自動的にステータスバーに反映され、自分の欠席状況を一目で確認できる。



画面 (1)



画面 (2)

06 QnA

06 QnA

QnA

1.1 必要性

重複する質問への回答、苦情受付、全体お知らせなどを伝える方法が必要





QnAをクリック

07 講義評価/能力評価/アンケート調査

07 講義評価/能力評価/アンケート調査

講義評価



講義評価をクリック



講義評価する科目を選択



講義評価後、「保存する」をクリック

07 講義評価/能力評価/アンケート調査

能力評価



能力評価をクリック



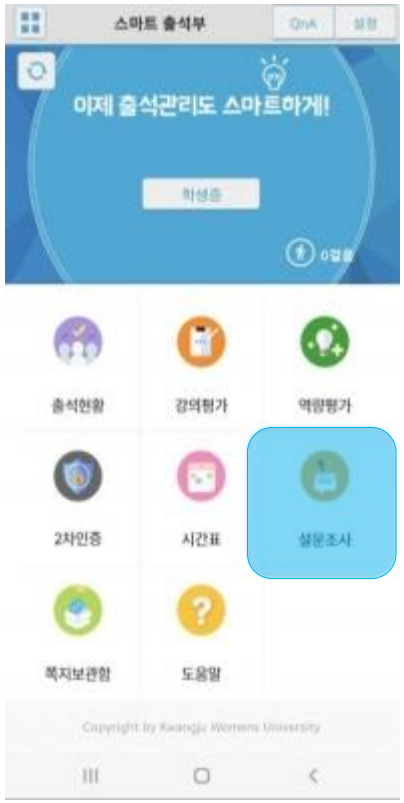
能力評価する科目を選択



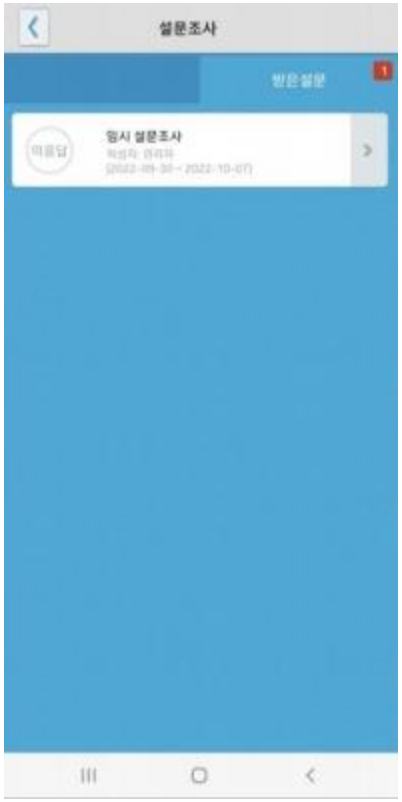
能力評価後、「保存する」をクリック

07 講義評価/能力評価/アンケート調査

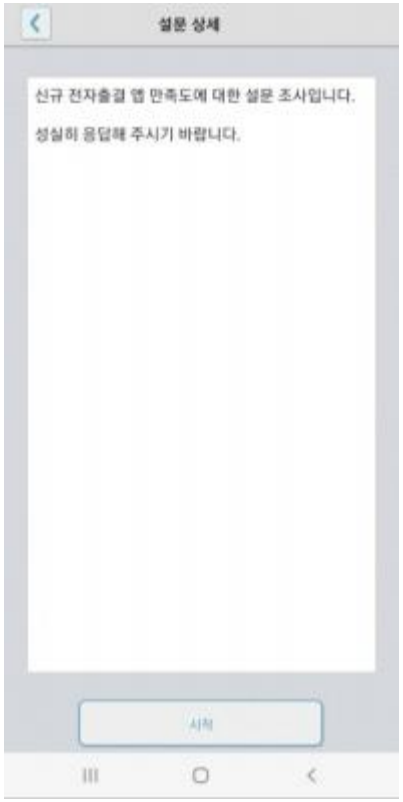
アンケート調査



アンケート調査をクリック



アンケート調査する項目を選択



アンケート調査を進行

08 2次認証

08 2次認証

二次認証を登録する



2次認証をクリック



認証番号送信をクリック



認証番号の入力



認証方法を登録

08 2次認証

認証する



認証要求のプッシュ確認



認証する

09 メッセージボックス

09 メッセージボックス

新規メッセージの作成



メッセージボックスをクリック



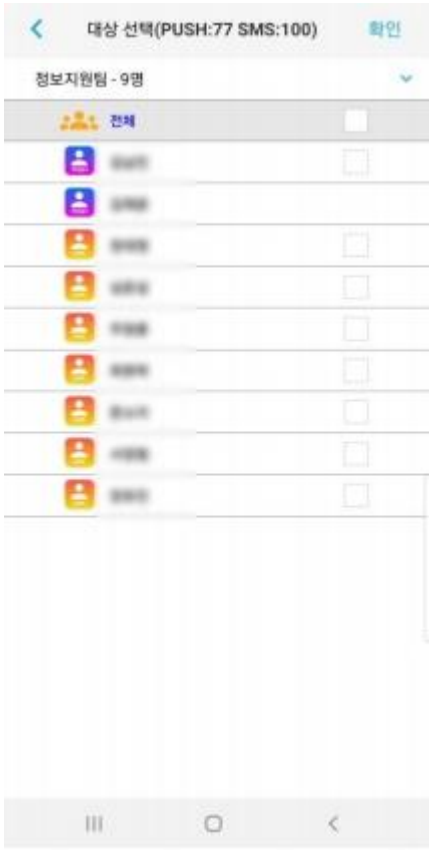
メッセージボタンをクリック



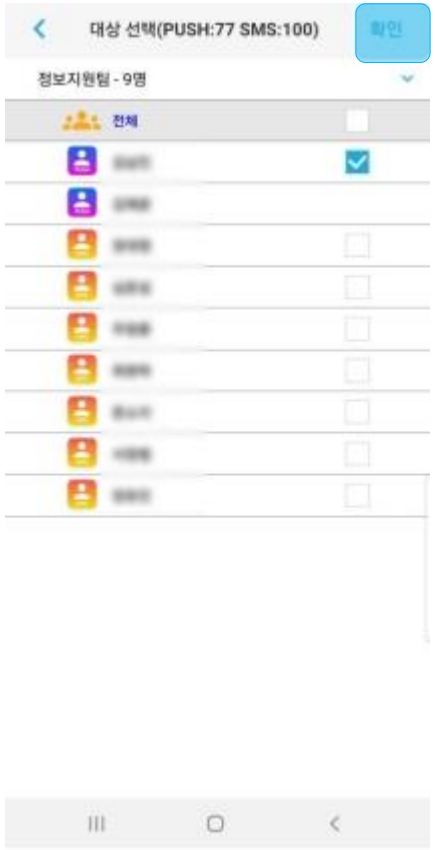
宛先を選択

09 メッセージボックス

新規メッセージの作成



宛先を選択



確認をクリック



内容作成後、送信をクリック

09 メッセージボックス

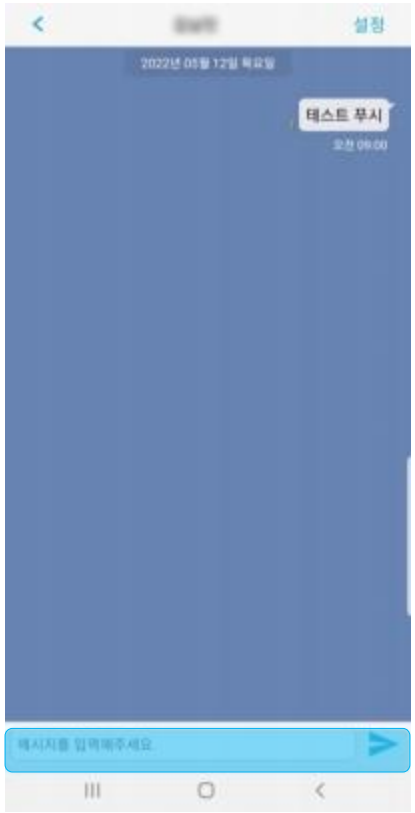
受信メッセージ



メッセージボックスをクリック



確認するメッセージを選択



メッセージの確認及び返信

09 メッセージボックス

設定する



右上の設定ボタンをクリック



設定を選択すれば、
フォントサイズ及びテーマの
設定が可能

10 モバイル学生証

10 モバイル学生証



学生証をクリック



Xidstory
씨드스토리